



**STANDARD
TOKYO**

2024年4月15日

各 位

会社名 株式会社テイツー
代表者名 代表取締役社長 藤原 克治
(コード番号:7610 東証スタンダード)
問合せ先 取締役社長室長 近藤 武男
電話番号 048-933-3070

剰余金の配当並びに2025年2月期通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2024年4月15日の取締役会において、2024年2月29日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、2025年2月期の通期連結業績予想及び配当予想と併せて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (2023年7月14日公表) | 前期実績 (2023年2月期) |
|----------|------------|---------------------------|--------------------|
| 基準日 | 2024年2月29日 | 同左 | 2023年2月28日 |
| 1株当たり配当金 | 4円 | 同左 | 3円 |
| 配当金総額 | 256百万円 | — | 197百万円 |
| 効力発生日 | 2024年5月16日 | — | 2023年5月11日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

(2) 配当の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして位置づけ、企業価値の向上に努めております。また、当社では、剰余金の配当等を取締役会の決議をもって定めることができる旨を定款で定めており、利益配分にあたっては、将来の事業展開に備えた内部留保の充実を勘案し、業績に応じた配当を安定的に実施することを基本方針としております。ただし、特別な損益等の特殊要因により当期純利益が大きく変動する営業年度につきましては、その影響を考慮した配当を実施いたします。なお、内部留保金につきましては、事業の一層の発展を図るためのシステム開発や、人材育成といった社内体制の充実等、経営基盤の確立に充当する予定であります。

上記基本方針を踏まえ、2024年2月期の業績、株主の皆様への継続的な利益還元及び今後の企業価値の向上を目的とする事業展開のための所要資金等の内部留保を勘案した結果、2024年2月期期末配当として1株当たり4円の期末配当を実施することを決定いたしました。

2. 2025年2月期（2024年3月1日～2025年2月28日）通期連結業績予想

(1) 通期連結業績予想

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株あたり 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| 今回発表予想 | 37,400 | 1,500 | 1,500 | 900 | 円 銭 14.00 |
| (ご参考)前期実績 (2024年2月期) | 35,197 | 1,333 | 1,423 | 568 | 8.84 |

(2) 通期連結業績予想の理由

リユース店舗領域での出店継続（FC含む）や商材多様化への取り組み、リユースEC領域での各種投資や子会社株式会社山徳の利益貢献、及びリユースBtoB領域でのTAYS・自販機の拡販等を加味するなど、投資を含めた成長戦略履行の各種取組事項を継続することで、前期実績に対して増収増益の予想としました。

3. 2025年2月期（2024年3月1日～2025年2月28日）配当予想

(1) 配当予想

| | 年間配当金(円) | | | | |
|-------------------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 今回発表予想 | — | 0.00 | — | 4.00 | 4.00 |
| (ご参考)前期実績 (2024年2月期) | — | 0.00 | — | 4.00 | 4.00 |

(2) 配当予想の理由

2025年2月期の配当金に関しましては、当期の通期連結業績予想、今後の企業価値の向上を目的とする事業展開のための所要資金等の内部留保等を勘案し、1株当たり4円の期末配当を予定しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上